

三枝有教授の年譜と主要著作目録

【略 歴】

昭和29年愛知県名古屋市に生まれる。中央大学法学部法律学科卒業、中京大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）し、1年間民間企業に勤務後、近畿大学通信教育部併修校専任講師、名古屋女子大学専任講師を始めとして同大学助教授を経て名古屋学院大学助教授、教授となり、中京大学大学院法務研究科教授、ノースアジア大学法学部教授を経て信州大学大学院法曹法務研究科教授となり、平成28年4月より信州大学経法学部総合法律学科教授として現在に至る。この間、日本法政学会理事ならびに監事を歴任し、名古屋学院大学キャリアセンター長、中京大学大学院法務研究科法曹養成研究所副所長、ノースアジア大学法律研究所所長などを担当し、名古屋市立大学、南山大学、南開大学法学院（中国）、愛知大学法科大学院、名城大学法学研究科、中京大学、名古屋学院大学などで講師として勤務した。

【主要研究分野】

刑事法に興味を持ち渥美東洋先生のご指導を受けるが、藤木英雄先生の影響を強く受けて、刑法ならびに刑事政策分野に取り組み、行政刑法ならびに環境刑法に関する分野における基本理論ならびに応用的場面についての研究に従事した。

【主要研究業績】

・主たる著書（昭和61年～平成31年まで）

『刑法講義要録（総論）』エフエー出版社、『刑法の総まとめ』公務員試験協会、『現代刑事判例研究第1巻』（共著）成文堂、『市民生活と法』（共著）法律文化社、『セットアップ法学』（共著）成文堂、『現代刑事判例研究第2巻』（共著）成文堂、『刑事法入門』（共著）成文堂、『フロンティア法学』（共

著) 法律文化社、『家族の変容と暴力の国際比較』(共著) 明石書店、『ローデバイス法学入門』(共著) 法律文化社など。

・主たる論文(昭和56年～平成30年まで)

修士論文「可罰的違法性に関する一考察」

- 1 「可罰的違法性に関する一考察」中京大学大学院生法学研究論集第3号
- 2 「可罰的違法性論と社会的相当性論」中京大学大学院生法学研究論集第4号
- 3 「可罰的違法性論と被害者の承諾」中京大学大学院生法学研究論第5号
- 4 「刑事判例研究(2)被害者の承諾」中京法学第20巻3号
- 5 「共同正犯論における共謀共同正犯(1)」中京大学大学院生法学研究論集第6号
- 6 「被害者の承諾における可罰的違法性論」日本法政学会法政論叢第22巻
- 7 「刑事判例研究(5)死刑 選択の基準－永山事件判決より」中京法学第21巻2号
- 8 「共同正犯における共謀共同正犯(2)」中京大学大学院生法学研究論集第7号
- 9 「マジックホンの取り付および使用行為と行政刑法」中京法学第22巻1号
- 10 「不動産事犯における刑罰の役割と理論」中京大学大学院生法学研究論集第8号
- 11 「刑事判例研究(11)自己消費のための酒類製造に対する酒税法上の規制」中京法学第27巻2号
- 12 「爆発物取締罰則1条及び3条の「人ノ身体ヲ害セントスルノ目的」の意義」中京大学大学院生法学研究論集第13号
- 13 「共謀共同正犯と過剰防衛」中京法学第28巻1号
- 14 「企業災害と過失」中京大学社科学研究第15巻1号
- 15 「威力業務妨害罪に関する一考察」名古屋女子大学紀要第39号

- 16 「政治献金への法的規制」中京大学大学院生法学研究論集第15号
- 17 「政治倫理—刑法的側面から」日本法政学会法政論叢第30巻
- 18 「経歴詐称事件に於ける間接正犯」中京大学社会科学研究所第16巻2号
- 19 「私文書偽造における「人格の同一性」について」中京大学大学院生法学研究論集第15号
- 20 「証券取引法上の刑事責任に関する一考察」中京大学社会科学研究所第17巻2号
- 21 「親族相盗例における親族関係」中京法学第30巻3号
- 22 「環境法におけるサンクションの在り方」日本法政学会法政論叢第33巻
- 23 Transition to Environmental Law and Environmental Criminal Law in Japan “Japan at the Cross Roads” Central Queensland University Press
- 24 The Death Penalty and Japanese National Sentiment 名古屋女子大学紀要第44号
- 25 「情報公開における刑事法上の課題と限界」日本法政学会法論叢第34巻
- 26 「企業秘密と刑事罰—情報公開の立場より」名古屋学院大学論集第35巻1号
- 27 「刑事情報公開の在り方—ミーガン法の状況」中京大学社会科学研究所第19巻第1号
- 28 「公務員倫理と汚職」日本法政学会法政論叢第35巻2号
- 29 Reforming Japanese Laws on Abortion “Reinventing the Old Japan” Central Queensland University Press
- 30 「刑事法学と社会倫理」日本法政学会法論叢第38巻1号
- 31 「環境保護と環境刑法」日本法政学会法論叢第38巻2号
- 32 「悪徳商法と刑法」「消費者問題と消費者政策社会科学研究所叢書9
- 33 「児童虐待における刑事法の在り方」中京法学第37巻3・4号
- 34 Child Abuse in the Context of Criminal Law in Japan “Japan Today” Central Queensland University Press
- 35 「児童虐待に対する刑事法の新たな役割」日本法政学会法政論叢第40

卷1号

- 36 「児童虐待防止法の改正と刑事規制の在り方」現代法律学の課題－日本法政学会五十周年記念論集
- 37 「環境刑法の新展開」日本法政学会法政論叢第45巻1号
- 38 「児童虐待への刑事法的介入と理論的背景」日本法政学会法政論叢第48

卷2号

- 39 「児童虐待への刑事的介入」子どもの虐待とネグレクト（日本子ども虐待防止学会誌14巻3号）
- 40 「人工中絶と胎児の生命」信州大学法学論集第20号
- 41 「シーシェパード事件（東京地判22年7月7日）」判例時報社判例評論650号
- 42 「環境刑法と原発規制」信州大学法学論集第24号
- 43 「淫行条例と特別刑法 - 長野県淫行条例を契機として」日本法政学会論叢第53巻2号
- 44 「淫行条例の刑事法的検討」信州大学経法論集第6号
- その他著書・論文あり。

以上